

平成28年度埼玉県学力・学習状況調査について

ふじみ野市教育委員会

1 調査の概要

(1) 調査目的

教育委員会の施策や各学校の指導と子供たちの学力の関係を、客観的なデータに基づいて分析し、より効果的な施策や指導を考え、児童生徒の一人一人の学力をしっかりと伸ばす。

(2) 調査対象 小学校4年生～中学校3年生

(3) 調査内容

①教科に関する調査

小学校4年生～小学校6年生：国語、算数
中学校1年生：国語、数学
中学校2年生～中学校3年生：国語、数学、英語

②各学年での調査内容

実施学年	調査内容	学力の伸びの段階
小学校5年生	H27年度、小学4年で 小学3年の学習内容 を調査 H28年度、小学5年で 小学4年の学習内容 を調査	小学3年 → 小学4年
小学校6年生	H27年度、小学5年で 小学4年の学習内容 を調査 H28年度、小学6年で 小学5年の学習内容 を調査	小学4年 → 小学5年
中学校1年生	H27年度、小学6年で 小学5年の学習内容 を調査 H28年度、中学1年で 小学6年の学習内容 を調査	小学5年 → 小6学年
中学校2年生	H27年度、中学1年で 小学6年の学習内容 を調査 H28年度、中学2年で 中学1年の学習内容 を調査	小学6年 → 中学1年
中学校3年生	H27年度、中学2年で 中学1年の学習内容 を調査 H28年度、中学3年で 中学2年の学習内容 を調査	中学1年 → 中学2年

※例：小学校5年生：平成27年4月、小学4年の時に**小学3年の学習内容**について調査し、平成28年4月、小学5年で**小学4年の学習内容**について調査しました。このことから「学力の伸び」は、小学3年から小学4年の段階を見ることになります。

③質問紙調査 学習に対する意識、生活の様子、規律ある態度等

(4) 実施時期 平成28年4月14日（木）

2 調査の特徴

これまでの調査「学習した内容がしっかりと身に付いているのか」という視点



今年からの調査「一人一人の学力がどれだけ付いているのか」という新たな視点



毎年の調査結果を見比べることにより、一年間の学習の積み重ねが「**学力の伸び**」として見えるようになる



子どもたちが自分の学力の伸びや成長を実感することで、学ぶ意欲と自信につながる

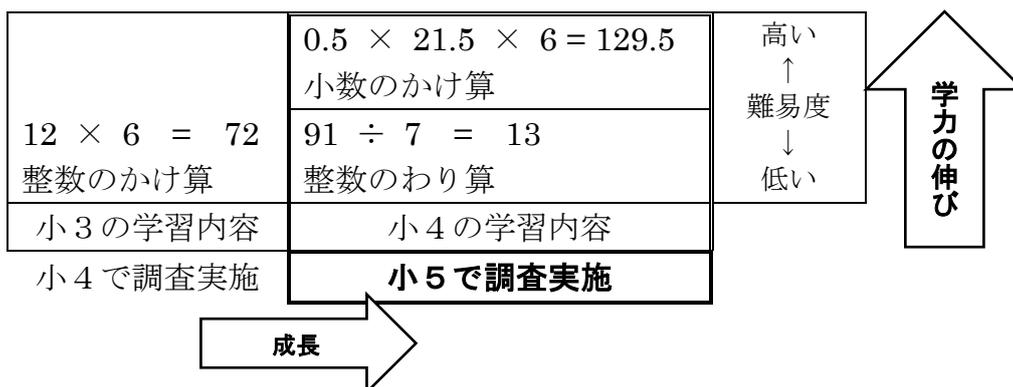
3 「学力の伸び」

「学力の伸び」とは、昨年度と比較して、より難易度の高い問題に安定して正答できるようになったことを示しています。

例えば、ある児童が、小学3年の学習内容で、 $12 \times 6 = 72$ という「整数のかけ算」の問題を正答し、次年度の調査で、 $91 \div 7 = 13$ という「整数のわり算」の問題を正答できたとします。この児童は、学年が上がり、学習指導要領に基づき「わり算」のやり方を学んだことにより、 $12 \times 6 = 72$ と同じくらいの難易度の問題に正答できたということになります。一方で、同じ児童が小学4年の学習内容で $0.5 + 21.5 \times 6 = 129.5$ の「小数のかけ算とたし算が混ざった」、整数だけのかけ算・わり算より難易度の高い問題を正答できたとします。この場合、昨年度と比較して、より難易度の高い問題に正答できるようになりましたので、本調査における「学力の伸び」としています。

例: 小学校5年生

学力の伸び = 昨年度と比較してより高度な問題に
解答できるようになった状態



～埼玉県教育委員会ホームページより～